

平成27年

## 6目学校給食予定献立表(平成11年1月~3月)

沖縄市立学校給食センター第一調理場 3929-4776

○給食費は期限内に納めましょう。○食材の都合により献立の変更をすることがあります。

○給食費は朝限内に納めました。○食材の都合により断りの必要をすることがあります。





## カレー焼きそば



焼きそばは、大人も子どもも好きな麺料理のひとつです。手軽にできますが、野菜や肉、ハムなど、いろいろな具を加えれば、美味しいだけでなく栄養的にもグッド！味付けも定番のソースをはじめ、塩やしょうゆで和風にするのもおいしいです。今回は、カレー粉を入れてピリッとさせましょう。

材料 (4人分)	
蒸しちゅうかめん	4玉
油	少々
塩	小さじ1/4
こしょう	少々
酒	大さじ1
ぶた肉・こま切れ (もも、またはかた肉)	100g
たまねぎ	1こ
にんじん	3cm
キャベツ	3~4まい
もやし	1ふくろ
小松菜 (または、チンゲン菜)	2かぶ
油	少々
塩	小さじ1/3
こしょう	少々
酒	大さじ1
カレー粉	小さじ1
ちゅうのうソース	大さじ4
しょうゆ	大さじ1

## 作り方

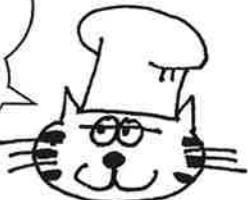
1 野菜を切る。

- たまねぎ → うす切り
- にんじん → せん切り
- キャベツ → ザク切り
- 小松菜  
(チンゲン菜) → 2cmくらいに切る

2 油でちゅうかめんをいため、塩、こしょう、酒をふる。いったん取りしておく。



ちゅうかめんをいためるときに、油を多めに入れて揚げるようにすると、パリパリした感じになっておいしいです。



3 油でぶた肉、にんじんをいため、火が通つたら、たまねぎ、キャベツ、小松菜、もやしを加えて強火で一気にいためる。



4 調味料を加える。



\*カレー粉はソースとしょうゆでといておく。

5 ②のちゅうかめんを加えてあわせる。



調味料にオイスター  
ソースを大さじ1加えると、うま味が出  
ます。その場合は、ちゅうのうソースを  
大さじ3にします。





# 6月給食たより

沖縄市給食センター  
第一調理場

「食育基本法」が制定されて今年で10年

## 6月は「食育月間」です！

食育基本法では、「食育」を①生きる上での基本であって、知育、德育及び体育の基礎となるべきもの②様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てるここと位置付けています。

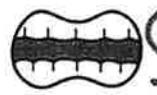
長年の習慣はなかなか変えられないものです。心身ともに健康な生活を送るために、子どものうちから望ましい食習慣を形成していくことが大切です。



### 家庭での「食育」実践度チェック！

<input type="checkbox"/> 毎日、朝食を食べていますか？	<input type="checkbox"/> 家族みんなで食卓を囲んでいますか？	<input type="checkbox"/> 行事食や郷土料理を取り入れていますか？	<input type="checkbox"/> 食品表示や産地を意識して食品を選んでいますか？	<input type="checkbox"/> 食材を無駄なく使い、残さず食べていますか？

ご家庭でも食と健康を意識して、身近なことから「食育」に取り組んでみてください。

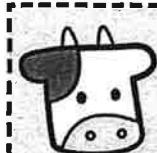


目安は一口30回

6月4日～10日「歯と口の健康週間」

## しっかりよくかんで食べよう！

食事の時に一口何回くらいかんでいますか？よくかんで食べると、唾液がたくさん出て虫歯を防いでくれたり、食べ物の味がよくわかり、薄味や少量でも満足感が得られたりと、体にいいことがあります。



そして…6月1日は「牛乳の日」です。  
歯や骨の健康のために、カルシウムたっぷりの牛乳を飲みましょう！



よくかむと…

虫歯や肥満の予防

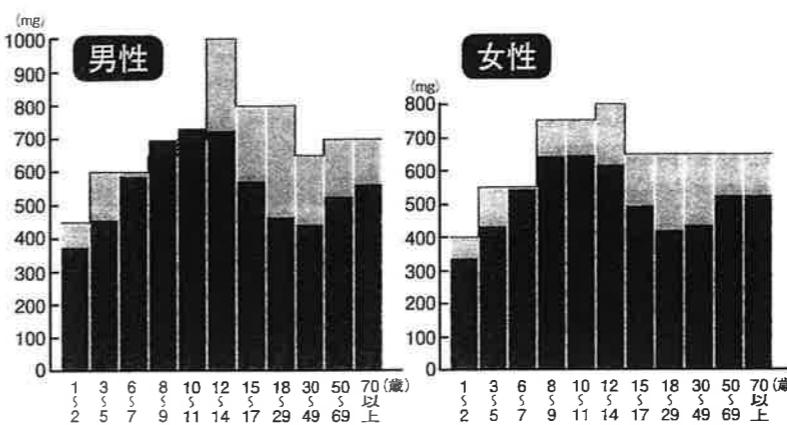
集中力・記憶力アップ

あごや歯の発育の助けに



## 日本人はカルシウムが不足気味

■ カルシウム推奨量 ■ カルシウム摂取量



出典 厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2015年版)」、厚生労働省「平成24年国民健康・栄養調査報告」より作成

カルシウムの推奨量と摂取量を比較したところ、ほとんどの年代においてカルシウムの摂取量が不足していることがわかります。カルシウムが成長期に不足すると骨や歯の形成障害が起つたり、高齢期には骨粗しょう症になったりすることが多く見られます。日頃からカルシウムを含む食品をとるようにしましょう。

## カルシウムのおもな働きを知ろう



体内のカルシウムは、約99%が骨や歯に含まれるほか、血液などにも含まれています。体内では、おもに丈夫な骨や歯をつくる働きがあり、成長期の子どもたちにとっても大切です。また、成長ホルモンをはじめとするホルモンの分泌や血液の凝固、筋肉の収縮、心臓が規則正しく動くために必要な栄養素です。

## どのくらい入っているの？ カルシウム

カルシウムが多く含まれている食品を普段の食事に取り入れましょう。

牛乳 200mL カルシウム227mg	プロセスチーズ 25g カルシウム158mg	ヨーグルト 100g カルシウム120mg	ちりめんじゃこ 10g カルシウム52mg
もめん豆腐 1/4丁 100g カルシウム120mg	納豆 1パック 50g カルシウム45mg	こまつな(生) 80g カルシウム136mg	ひじき(乾燥) 5g カルシウム70mg